災害時支援マニュアル

千葉県助産師会

一般社団法人　千葉県助産師会
災害対策委員会

はじめに

平成19年新潟県中越沖地震が発生したころ、千葉県助産師会に災害対策委員会が発足をいたしました。最初は災害時に母子への支援を確立するため、会員の意識を向上させる活動が中心でした。その後、平成23年３月11日の東日本大震災を契機として、避難所の女性への配慮の必要性や母子支援に目が向けられるようになりました。

日本助産師会では既に災害時支援マニュアルを作成しておりましたが、千葉県助産師会にはなく、地域の実情に合わせた、実際の支援で活用できるような災害時支援マニュアルの作成が必要となりました。そこで平成28年12月「災害時支援マニュアル」を発刊し、会員に配布いたしました。

令和元年には、千葉県に台風15号と19号が立て続けに到来し、甚大な被害が生じ、「母子福祉避難所」の設営がないところでは、母子が行き場を失っている状況がみられました。千葉県助産師会では、災害対策本部を立ち上げ、協力助産院による母子避難所の設置や、被災地区の会員を中心に避難所の巡回を行うなど支援活動にあたりました。令和2年には、新型コロナウイルス感染症が流行し、いまだに終息がみえておりません。また、地球温暖化の影響による自然災害が各地で発生し、災害への対応を迫られております。

そこで初版のマニュアルから５年が経過し、その間の社会情勢の変化や災害支援活動で得られた経験をもとに今回マニュアルを改訂いたしました。

まずは、改訂した本書を必ず通読していただき、いつ起こるかわからない災害に備えるとともに、万が一災害に遭遇したときには、被災地にいる妊産褥婦や母子への支援活動に役立てていただければ幸甚です。

一般社団法人千葉県助産師会

会長　武田　智子

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・　１
目次　・・・・・・・・・・・・・・・　２
目的　・・・・・・・・・・・・・・・　３

第１章　災害時における組織体制

１、設置時期　・・・・・・・・・・・・・・・　３
２、設置場所　・・・・・・・・・・・・・・・　３
３、災害対策本部　組織内容　・・・・・・・・・・・・・　４

第２章　緊急連絡網（別紙①）　・・・・・・・・・・・・・・・　４

千葉県市町村地図　・・・・・・・・・・・・・・・　６

第３章　情報の収集と提供　・・・・・・・・・・・・・・・　７

第４章　関連機関

近隣助産師会　・・・・・・・・・・・・・・・　７
市町村窓口　・・・・・・・・・・・・・・・　８
協力助産院　・・・・・・・・・・・・・・・　１０

第５章　支援の進め方

＊災害フェーズに応じた千葉県助産師会の活動内容（別紙②）　１４

１、災害時対応フローチャート　・・・・・・・・・　１５
２、災害支援に備えて　・・・・・・・・・　１６
３、災害支援に行くにあたって　・・・・・・・・・　１６
４、支援体制　・・・・・・・・・　１７

第６章　具体的な支援内容

１、災害による妊産褥婦の健康ニーズ　・・・・・・・　１８
２、避難所における女性および母子への具体的支援　２０
３、勤務助産師部会としての対応　・・・・・・・　２４
４、保健指導部会としての対応　・・・・・・・　２５
５、助産所部会としての対応　・・・・・・・　２６

第７章　災害時の備え　・・・・・・・・・・・・・・・　３０

その他　妊産婦初期対応質問票（別紙③）　・・・・・・・・・　３１

災害時の母子ケア実施記録票（別紙④⑤⑥）　・・・　３２
災害時支援報告書（別紙⑦）　・・・　３５
災害時支援協力員登録用紙個人用（別紙⑧）　・・・　３６
災害時支援協力についての申し入れ文書（別紙⑨）　４１

編集後記　・・・・・・・・・・・・・・・　４２

目　　的

1，被災地の妊産婦、母子および女性の被害を最小とし、回復を支援するために助産師の専門性を生かした活動が速やかかつ十分に行えるものとする。

2，日本助産師会やその他関連機関と効率的に連携協力ができる体制を整え、スムーズに機能できるものとする。

3，平常時より災害に備え、助産師の災害時教育を行ない、また地域への啓発活動等を通じて地域と連携した活動が行えるものとする。

第１章　災害時における組織体制

1、設置時期　千葉県内及び近隣県で発生した震度５強以上の地震、その他大災害発生時。会長（災害対策本部長）が設置の必要性を認めた時、災害対策本部を立ち上げる。

2、設置場所　（一社）千葉県助産師会事務所
〒264-0003　千葉県千葉市若葉区千城台南1-2-6
サンライズ千城台205号室
ＴＥＬ　043 - 371 - 2425
ＦＡＸ　043 - 372 - 2174
Eメール　info@midwife-chiba.org

＊千葉県助産師会事務所を使用できない場合の代替本部
（本部機能としての貸借料を支払う）

●八千代マタニティセンター武田助産院
八千代市米本1450　TEL　047 - 488 - 0311
FAX　047 - 488 - 0312

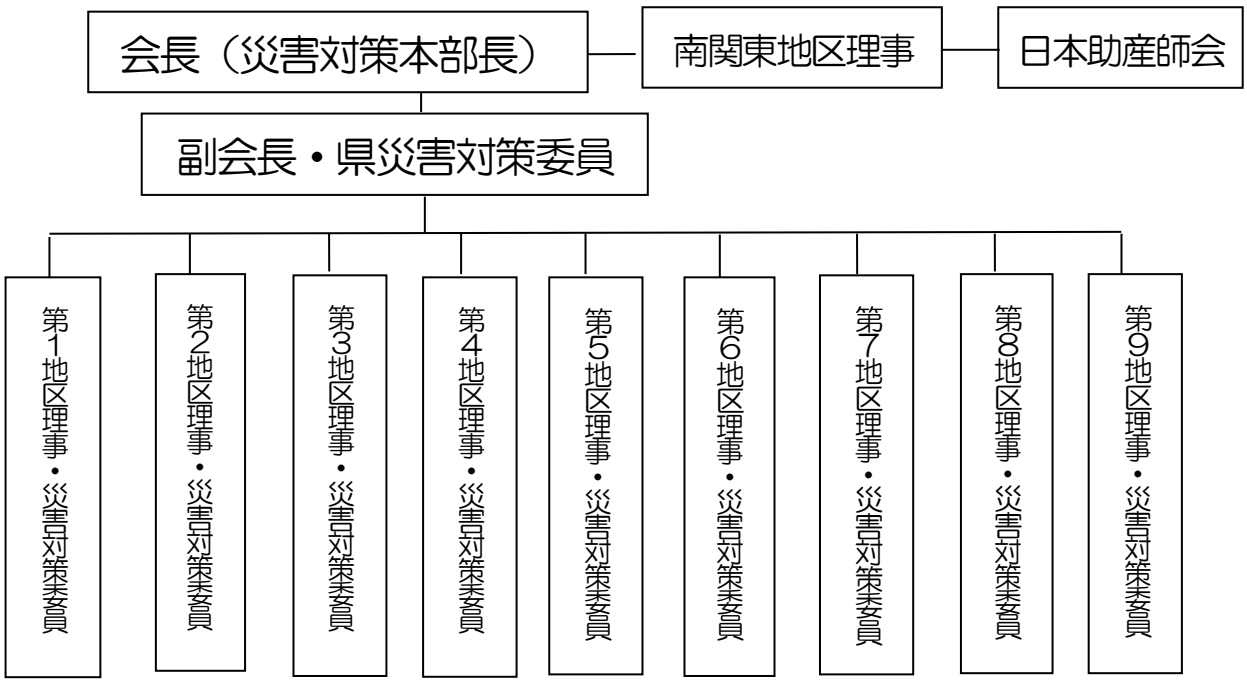
●助産院ねむねむ　TEL　0470 - 36 - 1383
南房総市海老敷422-1　FAX　0470 - 36 - 4683

●あだち助産院　TEL/FAX　04 - 7106 - 1103
柏市あけぼの3-9-22　080 - 6531 - 1568

必要機材	電話	ＦＡＸ	パソコン	プリンター	複写機	インク	Ａ４用紙
	地図	組織図	会員名簿	懐中電灯	ラジオ	文房具	非常食糧
	軍手	救急箱	飲料水	防寒用品	お産セット		ゴム手袋

文房具・・マジック（黒・赤・青）、ボールペン、シャープペンシル、はさみ、セロテープ、養生テープ、付箋、ホチキス、クリアファイル、ポケットファイル、ホワイトボード、ボード用ペン、マグネット
救急箱・・消毒、テープ、カットバン、ガーゼ、爪切り、マスク、手指消毒、生理用品

3、災害対策本部　組織内容



第　2　章　　緊　急　連　絡　網

緊急連絡網は**安否の確認**及び**情報伝達**の手段とする。

1）原則として会員全体の連絡先を登録する。（会員名簿の確認）
2）会員の安否確認・情報伝達がスムーズに行えるように、連絡網を地区ごとに作成する。
3）災害対策本部への報告は、地区災害対策委員が行う。
4）連絡がとれない会員については、地区災害対策委員または委員が指定した者が確認するよう努める。
5）連絡網は常に最新のものが必要である為、定期的に年2回（7月、1月）確認する。

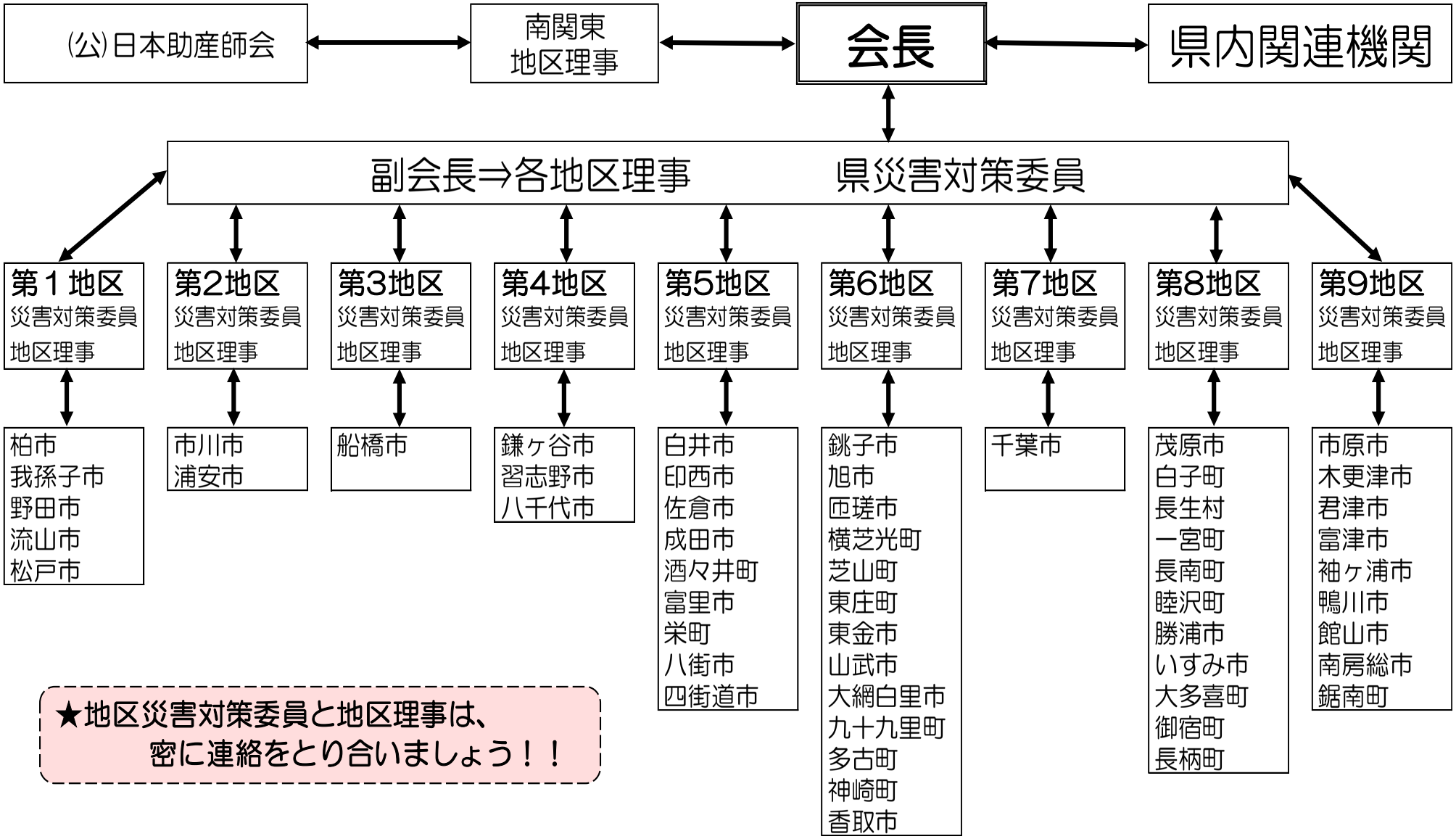
緊急避難場所

避難所

避難所兼
緊急避難所

別紙①

緊　急　連　絡　網



★地区災害対策委員と地区理事は、
密に連絡をとり合いましょう！！

千葉県市町村地図

第1地区：柏・野田・我孫子・流山・松戸地区
第2地区：市川・浦安地区
第3地区：船橋地区
第4地区：習志野・八千代・鎌ケ谷地区
第5地区：印旛地区
第6地区：香取・海匝・山武地区
第7地区：千葉地区
第8地区：長生・夷隅地区
第9地区：市原・君津・安房地区

第３章　情報の収集と提供

項　　目	収集及び伝達方法	責任者
会員の安否確認	①緊急連絡網によりメール及び電話で確認 ②確認した情報を災害対策本部へ連絡 ※第一報を24時間以内に災害対策本部に報告、その後随時報告	各地区理事 災害対策委員 ⇩ 災害対策本部
会員の被害状況（ライフライン・建物・設備・物品）の把握	①緊急連絡網によりメール及び電話で確認 ②確認した情報は、随時災害対策本部へ連絡する	各地区理事 災害対策委員 ⇩ 災害対策本部
災害支援に関する情報収集と情報提供 気象庁「キキクル」	①災害対策本部は、会員及び関連機関（県・各市町村）より情報収集し、情報提供をする メール・FAX・電話・SNS・会員メーリングリスト・等にて ②フェーズを確認する （ 支援については、p14 別紙②参照 ）	災害対策本部 ⇕ 会　員

＊千葉県助産師会「会員メーリングリスト」は緊急時の情報伝達として使用することもあります。

第４章　関連機関

- 近隣助産師会
- 市町村窓口
- 協力助産院

南北関東地区助産師会　連絡先

近隣助産師会の連絡先については、

日本助産師会のホームページ

https://www.midwife.or.jp/general/supportcenter.html

をごらんください。

市町村別母子相談窓口一覧表　千葉県内54市町村					R3年8月確認
No.	市町村	名　称	電　話	〒	住　所
1	柏市	柏市保健所 地域保健課 子育て包括担当	04-7167-1257	277-0004	柏市柏下65-1 ウェルネス柏
2	流山市	流山市保健センター 健康増進課 母子保健係	04-7154-0331	270-0121	流山市西初石4-1433-1
3	我孫子市	我孫子市保健センター 健康づくり支援課	04-7185-1126	270-1132	我孫子市湖北台1-12-16
4	野田市	野田市 保健福祉部 保健センター	04-7125-1188	278-0003	野田市鶴奉7-4
5	松戸市	松戸市 子ども家庭相談課 母子保健担当室	047-366-5180	271-0072	松戸市竹ケ花74-3
6	市川市	市川市保健センター 健康支援課	047-377-4511	272-0023	市川市南八幡4-18-8
7	浦安市	浦安市健康センター 母子保健課	047-381-9034	279-0004	浦安市猫実1-2-5
8	船橋市	船橋市子育て世代包括支援センター 相談専用電話	047-411-8250	273-8506	船橋市北本町1-16-55
9	八千代市	八千代市保健センター 母子保健課	047-486-7250	276-0042	八千代市ゆりのき台2-10
10	習志野市	習志野市 健康支援課 母子保健係	047-453-2967	275-8601	習志野市鷺沼2-1-1
11	鎌ヶ谷市	鎌ケ谷市総合福祉保健センター 健康増進課 母子保健係	047-445-1393	273-0195	鎌ケ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
12	成田市	成田市保健福祉館 健康増進課 子育て包括支援センター	0476-27-1111	286-0017	成田市赤坂1-3-1
13	佐倉市	佐倉市　健康推進部　母子保健課	043-485-6712	285-0825	佐倉市江原台2-27
14	四街道市	四街道市保健センター 健康こども部 健康増進課	043-421-6100	284-8555	四街道市鹿渡無番地
15	八街市	八街市 市民部 健康増進課	043-443-1631	289-1192	八街市八街ほ35-29
16	印西市	印西市中央保健センター 健康増進課 母子保健係	0476-42-5595	270-1327	印西市大森2356-3
17	白井市	白井市保健福祉センター 健康課 母子保健班	047-497-3495	270-1422	白井市復1123
18	富里市	富里市 健康福祉部 健康推進課　母子保健班	0476-93-4121	286-0292	富里市七栄652-1
19	酒々井町	酒々井町 健康福祉課 保健センター	043-496-0090	285-0922	印旛郡酒々井町中央台4-10-1
20	栄町	栄町 福祉・こども課 子育て包括支援室 （子育て包括支援センター）	0476-37-7185	270-1516	印旛郡栄町安食938-1
21	香取市	香取市 佐原保健センター 健康づくり課	0478-50-1235	287-0001	香取市佐原ロ2127
22	神崎町	神崎ふれあいプラザ 保健福祉課 保健係	0478-72-1603	289-0221	香取郡神崎町神崎本宿96
23	多古町	多古町保健福祉センター 保健福祉課 健康づくり係	0479-76-3185	289-2241	香取郡多古町多古2848
24	東庄町	東庄町保健福祉総合センター 健康福祉課	0478-80-3300	289-0612	香取郡東庄町石出2692-4
25	銚子市	銚子市保健福祉センター すこやかまなびの城	0479-24-8070	288-0047	銚子市若宮町4―8
26	旭市	旭市 飯岡保健センター 健康管理課 支援班	0479-57-3113	289-2712	旭市横根3520

27	匝瑳市	匝瑳市 健康管理課 健康管理班	0479-73-1200	289-2144	匝瑳市八日市場イ2408-1
28	東金市	東金市 市民福祉部健康増進課 地域保健係	0475-50-1234	283-0005	東金市田間3-9-1
29	山武市	山武市 健康支援課 母子保健係	0475-80-1172	289-1324	山武市殿台296
30	大網白里市	大網白里市保健センター 健康増進課 健康増進班	0475-72-8321	299-3251	大網白里市大網100-2
31	九十九里町	九十九里町保健福祉センター 保健福祉課 健康指導係	0475-70-3182	283-0104	山武郡九十九里町片貝2910
32	芝山町	芝山町保健センター 福祉保健課保健衛生係	0479-77-1891	289-1624	山武郡芝山町小池980
33	横芝光町	横芝光町 健康づくりセンター「プラム」 健康こども課	0479-82-3400	289-1733	山武郡横芝光町栗山1076
34	千葉市	千葉市総合保健医療センター 保健福祉局 健康部 健康支援課 母子保健班	043-238-9925	261-0001	千葉市美浜区幸町1-3-9
35	茂原市	茂原市　健康管理課　保健センター	0475-25-1725	297-0029	茂原市高師3001
36	一宮町	一宮町保健センター 福祉健康課	0475-40-1055	299-4301	長生郡一宮町一宮2461
37	睦沢町	睦沢町　福祉課　子育て推進班	0475-44-2578	299-4492	長生郡睦沢町下之郷1650-1
38	長生村	長生村保健センター 健康推進課 健康指導係	0475-32-6800	299-4394	長生郡長生村本郷1-77
39	白子町	白子町役場 保健福祉課 健幸づくり係	0475-33-2179	299-4292	長生郡白子町関5074-2
40	長柄町	長柄町役場 健康福祉課 健康管理係	0475-35-2414	297-0298	長生郡長柄町桜谷712
41	長南町	長南町役場 健康保険課 健康管理係	0475-46-3392	297-0192	長生郡長南町長南2110
42	勝浦市	勝浦市 福祉課　子育て支援係	0470-73-6618	299-5292	勝浦市新官1343-1
43	いすみ市	いすみ市大原保健センター 健康高齢者支援課 健康づくり班	0470-62-1162	298-8501	いすみ市大原7400-1
44	大多喜町	大多喜町役場 健康福祉課 保健予防係	0470-82-2168	298-0292	夷隅郡大多喜町大多喜93
45	御宿町	御宿町役場 保健福祉課 保健予防係	0470-68-6717	299-5192	夷隅郡御宿町須賀1522
46	市原市	市原市 子育てネウボラセンター	0436-23-1215	290-0050	市原市更級5-1-27
47	木更津市	木更津市 子育て支援課 子育て世代包括支援センター きさらづネウボラ	0438-23-7244	292-8501	木更津市朝日3-10-19
48	君津市	君津市保健福祉センター 健康づくり課 すこやか親子係	0439-57-2233	299-1152	君津市久保3-1-1
49	富津市	富津市 健康福祉部 健康づくり課	0439-80-1268	293-0006	富津市下飯野2443
50	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市 子育て世代総合サポートセンター	0438-62-3220	299-0262	袖ケ浦市坂戸市場1-1
51	館山市	館山市保健センター 健康課保健係	0470-23-3113	294-0045	館山市北条740-1
52	鴨川市	鴨川市総合保健福祉会館 健康推進課 保健予防係	04-7093-7111	296-0033	鴨川市八色887-1
53	南房総市	南房総市 保健福祉部 健康支援課	0470-36-1152	294-0813	南房総市谷向100
54	鋸南町	鋸南町保健福祉総合センターすこやか 保健福祉課 健康推進室	0470-50-1172	299-1902	安房郡鋸南町保田560

＜災害時協力助産院名簿＞

令和5年2月確認

第1地区（柏・野田・我孫子・流山・松戸地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
あだち助産院	足立千賀子	柏市あけぼの	080-6531-1568			~~○~~	○
小宮助産院	小宮光江	流山市西深井	04-7196-7343			○	○
おおたかの森助産院	山本正子	流山市 おおたかの森北	04-7168-0080			○	
出張専門米村助産所	米村洋子	柏市南増尾	090-3340-8392				○
和（なごみ）助産院	小路和子	柏市南増尾	090-9208-8376				○
かとう出張専門助産院	加藤睦	松戸市大金平	047-345-3381				○
あびこ助産院	米丸充咲	我孫子市我孫子	04-7179-7321	○		○	
かまた助産院 東松戸母乳育児相談室	鎌田智子	松戸市東松戸	080-7936-0947			○	
こばやし助産院	小林由美子	流山市東深井	080-5075-1844				○
いぶき助産院	森田広恵	柏市柏	080-3706-3558			○	○
出張専門助産所 Tokyo Midwife	ララン絵里子	柏市泉町	090-5435-6323				○

第2地区（市川・浦安地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
川口助産所	川口眞理子	浦安市堀江	047-351-5550				○
すず助産院	来田美鈴	浦安市北栄	080-1000-9825			○	○
桶谷式母乳育児 相談室つむぎ	小椋利絵	浦安市当代島	047-720-0286			○	

第３地区（船橋地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
さくら助産院	高山美代子	船橋市高根台	090-6307-6891				○
田村助産院	田村陽子	船橋市海神	090-8042-1054			○	○
野口みち子助産院	野口みち子	船橋市新高根	047-462-0368			○	○
本田母乳育児相談室	本田朋子	船橋市西習志野	047-461-4803			○	
bean助産院	今ひろみ	船橋市丸山	080-1303-5805			○	○
ばおばぶ助産院	水野由香子	船橋市西船	050-3568-7104				○

第４地区（習志野・八千代・鎌ケ谷地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
八千代マタニティセンター武田助産院	武田智子	八千代市米本	047-488-0311	○		○	
おおたに出張専門助産所	大谷理恵	千葉市花見川区	080-6759-3707				○
もり助産院(出張専門)	森昌代	習志野市谷津	080-5641-8341				○
ぽかぽか助産院出張専門	斎藤明子	習志野市香澄	090-4452-0328				○
丸山助産院	丸山美子	八千代市高津東	047-484-0485			○	

第５地区（印旛地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
白井助産院(出張専門)	白井祐子	四街道市四街道	090-6100-5081		○		○
杉山母乳育児相談室	杉山ふく子	佐倉市大崎台	043-484-7471			○	

sora-いんぐ出張専門助産院しまもり	島森孝恵	佐倉市山王	080-5900-6817				○
とむら出張専門助産院	戸村恵理	佐倉市	043-485-4693				○
佐々木出張専門助産所	佐々木明代	成田市玉造	0476-29-3100				○
よしおか助産院（母乳外来）	吉岡由起子	成田市玉造	0476-28-8805			○	
助産院 ゆい	田中弘美	栄町安食	0476-95-7177	○	○	○	○
みらい助産院	的場晴美	印西市原	0476-40-1202	○		○	
にじいろ助産院	古賀千恵子	佐倉市城内町	090-4706-2782				○

第６地区（香取・海匝・山武地区）　　第8地区（長生・夷隅地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
かとり助産院	齋藤葉子	香取郡多古町間倉	0479-75-1469 090-9327-0349			災害時のみ○	○
ひまわり助産院	的射場久子	匝瑳市野手	0479-67-3132 090-9108-7039	○	○	○	○
桶谷式季美の森母乳育児相談室季美の森助産院	稲葉和子	大網白里市季美の森南	090-7802-2093			○	○
hahatoco母乳育児相談室いのうえ助産院	井上由子	茂原市東郷	090-7842-9492			○	○
ひがし母乳育児相談室	東　博美	東金市広瀬	090-8268-9091			○	○
しらくら助産院	白倉美智子	横芝光町鳥喰下	090-2446-3720			○	
みかづき助産所	小野裕子	大網白里市	0475-71-1833				○

第７地区（千葉地区）

助産院名	氏　名	住所（町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張

いいじま 出張専門助産院	飯島睦子	千葉市若葉区	080-1180-3430				○
おおた助産院	大野祐子	千葉市中央区新千葉	043―242―8172			○	○
カノン助産院	平良奈美	千葉市中央区松波	090-4598-0685			○	○
川島助産院	川島広江	千葉市青葉区御成台	043-236-6231				○
出張専門助産所　菅谷	菅谷厚子	千葉市稲毛区長沼原	090-2657-3724		○		○
出張専門 まんまる助産院	渡辺佐智子	千葉市稲毛区稲毛町	070-3542-0811				○
にいもり助産院 （出張専門）	新森永遠路	千葉市若葉区若松町	070-1407-0802				○
まりん助産院 （出張専門）	飯沼貴子	千葉市中央区青葉町	090-1704-2482				○
~~リリコイ助産院~~	~~山本裕子~~	~~千葉市稲毛区黒砂~~	~~090-4205-0471~~			~~○~~	~~○~~
わたなべ助産院	渡辺洋子	千葉市緑区 おゆみの中央	043-292-4086			○	
出張専門ノンナ助産院	遠藤隆子	千葉市美浜区高洲	090-3757-4610				○

第９地区（市原・君津・安房地区）

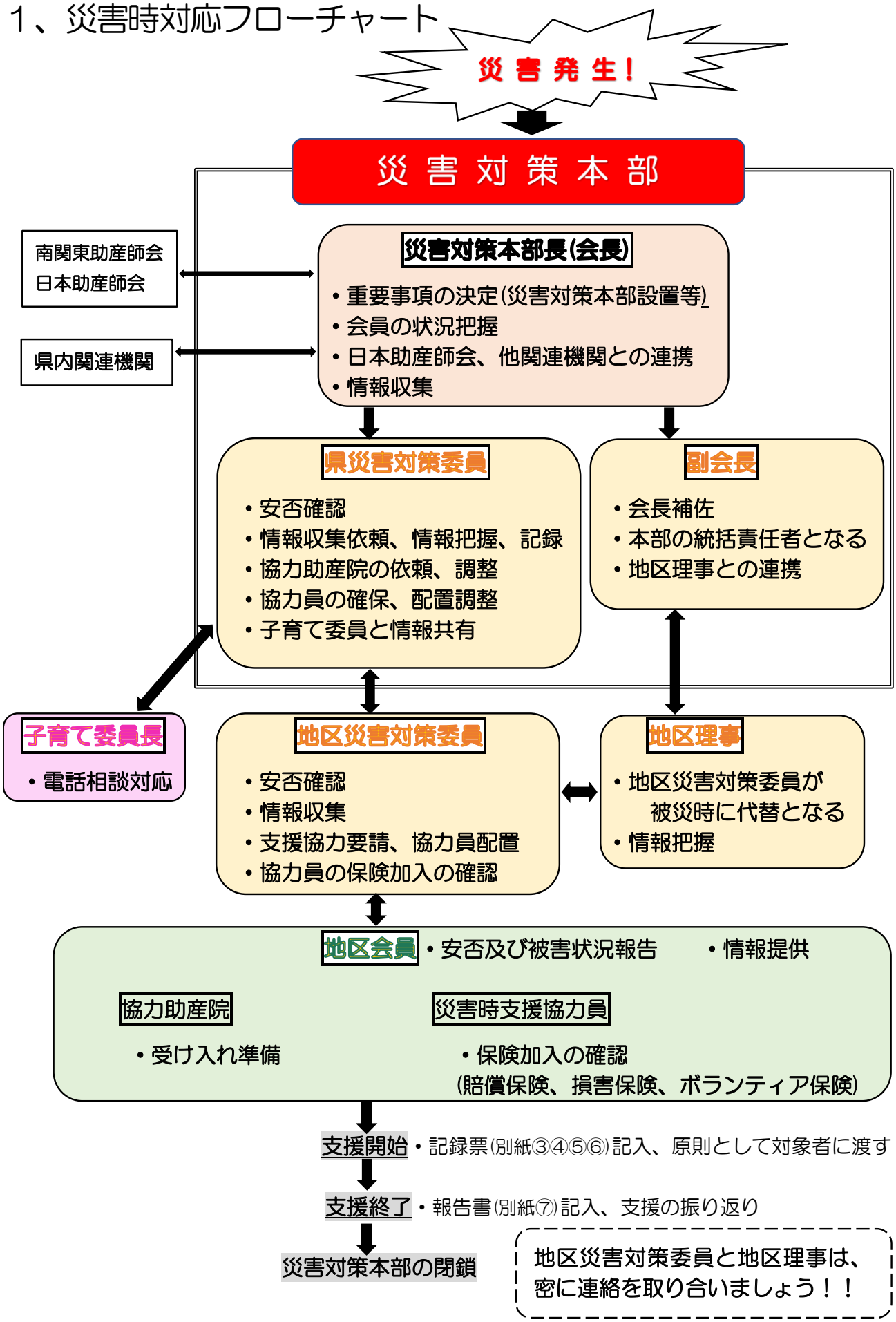
助産院名	氏　名	住所 （町名まで）	電話番号	分娩		母乳	
				施設	出張	施設	出張
キミツナカノ助産院	小柴和子	君津市中野	0439-55-1108	○	○	○	○
瑞生助産院	正林文子	市原市北国分寺台	0436-43-3241			○	○
助産院ねむねむ	根岸雄子	南房総市海老敷	0470-36-1383	○	○	○	○
助産院アロマ・バース	進藤典子	市原市能満	090-2213-6776	○	○	○	○
Midwife MOMOKO助産院	安達桃子	袖ヶ浦市代宿	0438-38-3330		サポート ○		○
ますみ助産院	渡邉真澄	袖ヶ浦市神納	090-5527-7388			○	○

別紙② 災害フェーズに応じた千葉県助産師会の活動内容

フェーズ	平常時	フェーズ0	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
	準備期	発災直後	超急性期	急性期	亜急性期	慢性期
日数	平常期	～6時間	6時間～72時間	72時間～1週間後	1週間後～1か月後	1か月後～
想定される状況		家屋倒壊による居住空間の確保困難、生活用品の消失と不足				
		受傷または負傷、身体的苦痛、発災に対する恐怖、被災による悲しみ				
			ライフライン停止による物資不足(食品・衛生材料・育児用品) 避難所での育児困難・不安の増大			
			避難所での公衆衛生への対応ニーズ拡大			
			車中避難者を中心にエコノミー症候群が増加			
				長期化する避難所生活の苦痛と不安		
千葉県助産師会の活動	災害時支援体制の整備 災害時備蓄物品の整理 災害時支援協力助産師の募集管理 助産師の災害時教育 妊産婦及び女性への災害対策啓発活動 関係機関との連絡、調整 九都県市・各地区の防災訓練への参加 初動動作シミュレーション訓練の実施	安否確認				
		災害対策本部設置				
		情報収集				
		(協定に基づく派遣)	協定に基づく派遣			
		可能なら助産院にて 一時避難の受け入れ				
			避難所における妊産婦、母子のケア(相談、授乳、沐浴等の支援)			
			助産所を活用し、分娩後早期退院産褥・新生児のケア			
			助産師の電話無料相談(ミッドワイフ千葉)開始			
				物資配布		
				避難所にいない妊産婦、母子のケア(巡回、訪問等による)		
				妊産婦、母子のこころのケア		

第５章　支援の進め方

1、災害時対応フローチャート



2、災害支援に備えて

①千葉県内での災害時支援希望者は「災害時支援協力員登録用紙」を地区災害対策委員へ提出する。（別紙⑧）

②平常時より日本助産師会の賠償責任保険(ウーベル等)及び傷害補償保険(個人の生命保険等)に加入する。

③協定市への支援の備え…災害時支援の協定書内容を十分に把握しておく。

④協定市以外へ災害時支援に行く場合は、必ず居住している地域の社会福祉協議会のボランティア活動保険に個別に加入する。

社会福祉協議会　ボランティア活動保険
加入方法について：https://www.saigaivc.com/
または「ふくしの保険」で検索

⑤千葉県外での災害時支援を希望する方は、日本助産師会の【災害ボランティア登録】をする。

＜登録方法＞
日本助産師会のホームページ：https://www.midwife.or.jpで
「会員ログイン」から会員専用ページへログイン
⇒「マイページ」メニューから【災害ボランティア登録】をクリック
⇒「災害ボランティア応募フォーム」に必要事項を記入
⇒「送信内容の確認」⇒「送信」をクリックすると登録完了

⑥災害時支援のためのセミナーなどに参加し、自己研鑽に努める。

★地区災害対策委員と地区理事は、密に連絡をとり合いましょう！！

3、災害支援に行くにあたって

①要請に応えるための準備
- ○家族や職場の了解・理解を得る。
- ○支援先に自分の専門性を明確に伝える。
- ○支援期間は移動日含め４日を超えない計画を立てる。

②心の準備
- ○無事に帰還することを心掛ける。
- ○気負い過ぎない。

③物の準備
- ○自己完結で滞在・移動ができる準備をする。
- ○季節・活動場所・災害状況により判断する。

④感染症対策の準備
- ○マスク・消毒用アルコール・体温計・フェイスシールド・防護服等の準備。

災害支援の原則

★自己完結型

★自己責任で生活

★自分の健康管理

★支援活動は複数行動

4、支援体制

基本的に本会が要請を受けたものに支援する。<u>支援依頼のやりとりは、原則文書で行う。</u>しかし、緊急時はその限りではない。

①協定市からの支援要請を優先する。

②協定市以外については、災害の状況を判断し、本会災害対策本部から避難所のある市町村宛てに「〇〇における助産師による支援協力について」を送付する。（別紙⑨）

③市町村からの要請は、本会「会長」宛ての要請文書で受ける。

④助産師は、緊急の場合に限り、個人で要請を受けてもよい。ただし、必ず本会「災害対策本部」に、氏名・地区・場所・期間・内容をＦＡＸ又はメールをしてから出かけることを厳守する。（書式自由）

⑤本会「災害対策本部」は要請文書を受け取ったのち、担当地区災害対策委員に連絡をする。

⑥本会「会長」宛ての要請文書は、郵送・ＰＣメール・ＦＡＸで受け付ける。

第６章　具体的な支援内容

１、災害による妊産褥婦の健康ニーズ

１）災害時の妊産婦・乳幼児をもつ母親の心と身体

≪避難所生活の特徴≫

①長期間避難所を利用する者は少ない。
②妊娠・分娩・育児・母乳栄養に対する不安が増強する。
③分娩施設変更への不安がある。
④身体が思うように動かせない、重いものを持てない。
⑤月経や悪露の処理の困難さ。
⑥プライバシーのない避難所等で性的嫌がらせやレイプがある。
⑦安心して授乳できる環境がない。
⑧避難所で小さな子どもを持つ親としての気兼ねがある。
⑨弁当やインスタント食品が中心となり、栄養バランスが崩れやすい。

≪避難所生活で起こりやすい身体的影響≫

①下腹部痛や性器出血を主訴とした切迫流早産
②血圧上昇、体重増加、浮腫の増強、眼華閃発、蛋白尿の出現などの
　HDP（妊娠高血圧症候群）症状
③体重の急激な増減
④外陰部の掻痒感
⑤産後悪露や血塊の増加などの子宮収縮不全
⑥産後傷の創部感染
⑦母乳分泌の減少、乳腺炎
⑧マイナートラブルの増悪…腰痛、頭痛、下肢のだるさやしびれ、不眠、
　便秘、全身のかゆみ、冷え、膀胱炎など
⑨感染症
⑩エコノミークラス症候群(静脈血栓塞栓症)

≪避難所生活で起こりやすい精神的影響≫

①流産や胎児に対する影響の心配、妊娠継続への不安
②分娩施設の変更、分娩開始時の対応への不安
③家族やペットとの別離からくるさみしさや喪失感
④プライバシーのない生活によるストレス
⑤気疲れや人間関係のストレス
⑥情報不足による不安
⑦子育てする気がおこらない、イライラする
⑧マタニティーブルーや産後うつになりやすい
⑨感染症への不安

2）妊産褥婦のニーズ

①早期の妊産婦の把握と支援
②物資の援助としてのマタニティウエアや育児用品、保温用品、外陰部清浄綿やナプキン、マスクや消毒薬などの感染対策物品の調達
③優しい声かけと笑顔
④安全な場所の確保と配慮
⑤母乳の援助
⑥災害時の過ごし方や健診の情報
⑦母親学級など同じ仲間の集い
⑧こころのケア

女性の訴えを傾聴する！

★強くなるように
★お気持ちはわかります
★そのうち乗り越えられます

禁句!!

あくまでも聞き手となる！！

2、避難所における女性および母子への具体的支援

1）避難所での助産師の対応

①指定された避難場所に参集

- 到着直後、避難所担当者に氏名と助産師会からの派遣であることを申し出る。

②避難所担当者の指示に従い、活動開始

- 助産師会の名札とビブスを着用する。
- 支援は2人以上で行動することが望ましい。

▹相談できる場所を作る。
　…相談や更衣・授乳など気軽に来て良いことを伝える。
▹相談窓口・電話・メール相談の情報を提供する。
▹授乳室やトイレ設置における助言をする。
▹物品確認と調達
▹避難所内における車中泊への対応

③活動記録

- 「母子ケア実施記録票」（別紙③④⑤）「妊産婦初期対応質問票」（別紙⑦）は、原則として対象者に渡し、支援の引き継ぎの手段としてもらう。または行政の管理方法に準ずる。
- 活動終了後、「災害時支援　報告書」（別紙⑥）を記録し、災害対策本部にFAX又はメールする。

＊「記録票」や「報告書」は、千葉県助産師会ホームページからダウンロードできる。

④会長は各関連機関に必要事項をとりまとめて報告

☆☆ストレスを残さない8項目☆☆

～休憩時間や援助を終えた後でできること～

1. 深呼吸で落ち着きを取り戻す。
2. 自分の仕事を褒めたり、相棒と評価し合う。
3. 同僚や周囲の人に体験を話し、感情をはき出す。
4. 軽い運動で身体をほぐす。
5. 十分な栄養をとる。
6. 好きな音楽を聴いたり、入浴でリラックスする。
7. 日常のことに手をつけてみる。
8. 家族と話をする。

＊デビッド・ロモ：「災害と心のケア」p.75　アスク・ヒューマン・ケア、1995

2）妊婦・褥婦・女性への支援

①確認事項と観察ポイント

【 基本的情報(共通) 】

〇対象者氏名・既往歴・現病歴（内服の有無や薬剤の確保状況）
〇家族構成・それぞれの家族の安否や居場所・家屋の被害状況
〇母子手帳の有無
〇血圧・睡眠状況・排泄状況・食欲の有無・表情・声のトーン
〇外傷や浮腫の有無（部位、程度）
〇体重の急激な増減
〇不眠、イライラ、物音や揺れに敏感、極度の不安、落ち込み
〇（特に被災後）ＤＶや虐待、心理的反応はどうか
〇マイナートラブルの有無
〇感染症症状の有無
〇エコノミー症候群症状の有無
〇それぞれのライフステージにみられる諸症状の有無、程度

【 妊産婦 】

〇妊娠経過、出産予定施設の把握
〇お腹の触診（お腹のあたたかさ、羊水量、腹緊の有無）
〇切迫、分娩兆候の有無（腹緊、腹痛、出血、破水など）
〇胎動の有無（極端な減少、１時間以上動かない、違和感など）
〇HDP症状の有無（血圧、頭痛、眼華閃発など）

【 褥婦（産後1か月程度まで） 】

〇妊娠、分娩経過
〇産後高血圧症状の有無（血圧、頭痛、眼華閃発など）
〇子宮収縮不良、子宮内感染の有無（悪露量、血塊、臭い、発熱、下腹痛）
〇創部感染の有無(疼痛増強、腫脹、発赤、発熱、掻痒感)
〇乳房の状態（乳房乳頭トラブル、分泌状況、乳腺炎症状）
〇授乳状況（母乳の回数や授乳時間、プライバシー確保の有無、お湯、ミルク、哺乳瓶または清潔なカップなどの必要物品の有無、洗浄は可能か）

【 高齢女性 】

〇トイレ回数、水分摂取状況、膀胱炎症状の有無
〇陰部のかぶれ、掻痒感の有無
〇食事摂取状況、飲み込みにくさの有無

高血圧、糖尿病で普段から食事療法をしている方
食べ物が飲み込みにくい方
義歯の状態が悪い方
⇒ 保健師へ情報提供

〇適度な運動の有無
〇認知症状の有無と程度・徘徊・尿失禁の程度と頻度
〇要介護認定及びサービス利用状況・生活の自立度

②具体的支援

【 健康管理 】

血栓予防	妊婦や褥婦は一般よりも血栓ができやすい。静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)の予防として、屈伸運動や散歩などで体を動かすこと、適度な水分摂取が必要であることを伝える。
便秘	環境の変化などで便秘になりやすい。予防と対策として、足の筋肉を動かすことで腸が刺激されるため、散歩や屈伸運動、適度な水分摂取が必要であることを伝える。
冷え	寒い時期に体育館などが避難所の場合や床に座って過ごす時間が長いと冷えやすい。また、ストレスや緊張からも冷えを起こしやすい。腹巻きや靴下を重ね履き、洋服や毛布を利用し、「首」を温めたり、適度に体を動かすこともよいと伝える。
暑さ	暑い時期に体育館などが避難所の場合、窓を閉め切ると風が通らずに暑さが増す。うちわやそれに代わるもので扇ぐ、適度に水分を取ることも大切であると伝える。入浴にこだわらず、体をウェットティッシュやタオルで拭く。
熱中症	乳幼児や高齢者が発症しやすいので注意する。こまめに水分摂取することを促し、襟袖ぐりに余裕があり暑さを逃がしやすい服装にする。顔が赤い、汗をたくさんかいている時は涼しい場所へ移動する。重症化すると尿や汗や涙も出なくなるのでその際には近くのスタッフへ至急知らせる。
月経	必要物品を調達する。または、使い捨てのタオルや布切れなどを使用する。 ストレスや状況の変化で月経のリズムが乱れることがあることを説明し、体調を把握するために月経周期をメモしておくよう伝える。
膀胱炎	症状は排尿時痛や頻尿・残尿感。陰部の清潔が保ちにくい状況なので対策が必要。携帯用ビデなどで洗ったり、使い捨ておしぼりや清浄綿で清拭し、陰部の清潔を保つこと、適度な水分摂取も大切であると伝える。
尿漏れ	骨盤底筋の引き締め運動を伝える（肛門・膣を5～10秒引き締めて緩める、を3～5セット）。それでも尿漏れが気になる時は、尿パットを使用、または布などを代用するよう伝える。
陰部の掻痒感	紙パンツ・ナプキン使用により痒みが出ることもある。物品が少なくてこまめに替えられない場合は布の端切れを使い捨てにし、陰部の清潔を保つためには部分的に洗ったり、使い捨ておしぼりや清浄綿にて清拭するとよいと伝える。
乾燥による肌荒れ	ハンドクリームなどがあれば使用する。肌荒れからの掻痒感や切れてしまうようであれば適切な薬剤を使用する。
二次被害の予防	女性・子どもはトイレや暗い場所へ一人で行かないように伝える。暗いところへ移動する際には、複数人とし、懐中電灯を携帯するように伝える。
感染症	①食事以外の普段の生活には必ずマスクをつけ、食事の際の会話は極力避けることを伝える。 ②手指の洗浄や消毒には給水車の水やウェットティッシュ、避難所に備え付けてある手指消毒液などを使用し、清潔を保つよう伝える。 ③可能な限り、密な状況を避けるよう注意する。

【 授乳についての援助 】

- 安心して授乳できるプライベート空間の確保。
- 授乳時のプライバシー確保ができていない母子がいれば、場所の情報提供、ダンボールの使用、バスタオル等で工夫する。
- 母乳が児にとって最も安心・安全・清潔な栄養であることを説明する。（栄養はもちろん抗菌成分・免疫を含んでいるので災害時の下痢や呼吸器感染症の流行から児を守ることができる）
- 母親の栄養や水分は授乳加算を考慮して特に十分必要であることを伝える。
- 一時的に母乳分泌は低下することもある。疲労や分泌不足があれば一時的にミルクの使用も検討。

【 ミルク補足についての援助 】

- 混合栄養の場合は、母乳のメリットを伝え、可能な限り母乳を与えた上でのミルク補足とする。
- 水や哺乳瓶、おしゃぶりなどが汚染されていることが多いため注意が必要であることを伝える。
- お湯または衛生的な水で調乳する。（硬水は腎臓への負担や消化不良の可能性があるので避ける）
- ミルク補足には哺乳瓶や紙コップを使用する。
- 衛生面に留意し、煮沸消毒、薬液消毒が不可能であれば、衛生的な水でよく洗って使用する。
- 飲み残したミルクはその度に破棄する
- 液体ミルクは調乳なしでそのまま飲ませることができる。よく振ってから飲ませ、飲み残しは捨てる。常温(25℃以下)で保存する。

3）新生児・乳幼児への支援

①確認事項と観察ポイント

〇体重・活気・食欲・体温・発育発達状況・離乳食開始後であれば食品の確保ができているか・排泄状況（下痢の持続は要注意！また排尿の状況から哺乳量の程度を判断する）

〇児の心理状態（ぐずり・夜泣きなどあるか・睡眠がとれているか・幼児であれば赤ちゃんがえりやチックなどの出現はあるか）

〇アレルギーの有無

〇母親の児に対する気がかりや不安点

〇保健医療サービスの利用状況

②具体的支援

【 児の栄養管理 】

・新生児・乳児は6回程度/日の排尿、皮膚の色つややや活気があることにより栄養が足りていると判断できることを伝える。足りない場合は　各自に合わせて補足などの方法を指導する。
・アレルギーのある場合は、炊き出しに含まれる出汁や調味料にアレルギーを起こす成分が入っていることがあるため、注意するように伝える。
・ミルクや離乳食も含め、アレルギー対応食品が準備されているか確認する。

【 児の清潔 】

・入浴にこだわらず、体はウエットティッシュやタオルで拭く。
・皮膚の弱い児の場合は、体をウエットティッシュで拭くとアルコールなどにかぶれることがあるので注意する。
・皮膚は薄く乾燥しやすいため、クリームやローションなどで保湿する。
・乳児はおむつかぶれを起こしやすい（おむつをこまめに交換できない、入浴できないことによる）ので、お湯で洗ったり、タオルを絞って拭くとよい。お湯やタオルがない場合は、おむつを外して乾燥させるのもよい。
・おむつがない場合は、タオルや布切れなどを使用し、使い捨てにするとよい。

【 児の体温維持 】

・保温にはアルミ素材のもの、新聞、布団や毛布が適している。
・添い寝や抱っこをすることにより保温のみならず心理的安定にもつながる。
・ダンボールで周りを囲うと温かくプライバシーも確保できる。

【 児の心理的安定に向けて 】

・児もそれぞれに被災による変化を感じているが、抱っこ、添い寝、話しかけることなどにより安心感を得られる。
・可能であれば幼児が遊べるスペースを作る。

◎必要に応じて保健医療サービスの利用を促す。
援助内容・継続支援を要するか、他機関との連携の必要性などの検討は随時行う。

3、勤務助産師部会としての対応

所属施設のマニュアルに準ずる

４、保健指導部会としての対応

『訪問時における災害対策』

１）平常時の準備

①訪問先のメモを残しておくなど、自分の居場所（訪問先）を明確にしておく。
②災害発生時の自治体等への連絡方法については、必ず把握しておく。
③訪問に出かける際は、助産師自身が被災することも想定し、０次グッズ(p30第７章参照)と感染対策グッズ（使い捨て手袋・アルコール消毒液・マスク・予防衣またはガウン・ゴーグルまたはフェイスシールドなど）を携帯する。
④訪問先では、訪問の前に、建物の非常口や避難経路をあらかじめ確認しておく。室内の配置物等も確認しておく。

２）災害発生時

①まずは、助産師自身が慌てず落ち着いて行動することを心がける。
※母子も動揺することが多いので、慌てないよう声かけをする。
②地震発生時は、揺れている状態では、母子と共に落下物等から身を守る位置に移動し、身の安全を確保する。
③揺れが落ち着いたら、家族等に連絡を入れるように促す。
④情報を得る。（市の防災無線・インターネット・ラジオ・ＴＶ・ＳＮＳなど）
⑤避難経路を確認する。
⑥母子が孤立しないよう配慮する。

- 家族と連絡が取れたか。
- 家族以外で助け合える人（隣人や友人）がいるか。
- 必要時、避難所までの誘導。
- 非常時持ち出し物品のアドバイス。
- 在宅避難する場合の必要物品の確認とアドバイス。
- 緊急時連絡先の案内など。
- 状況によっては、その場にしばらく留まる。

３）被災家庭への訪問時

①地区・氏名・訪問場所・日時・内容を必ず「災害対策本部」へ連絡する。
②支援内容は「避難所における女性および母子への具体的支援」（P20）参照。

４）状況報告

①行政等の委託事業等の場合、必ず行政や事業母体に報告する。
②個人で受けた訪問の場合でも、各地区災害対策委員に状況報告をする。

５）事後の確認

①災害発生後、その後の母子の生活状況や健康状態を確認する。
②必要な支援があれば、助産師としてできる事を提供する。
必要時、助産師会や行政への協力要請をする。

5、助産所部会としての対応

『開業助産所災害時対応マニュアル(有床助産所)』

＊母子の情報発信拠点となることを自覚し、積極的な情報収集をして正確な情報発信に努める。
＊災害の場所や規模により、災害対策本部の設置場所は異なるが、開業助産所が担う対応を自覚する。

1）　有床助産所における災害時の初期対応

①災害情報の把握	テレビ･ラジオ･インターネット等を利用する。 今後の問題や対応をスタッフ間で共有する。
②入院母子の安否確認	必要時、応急処置や病院への搬送をする。 家族に連絡をとり、無事を知らせる。
③助産所の被害状況の確認	施設の継続使用が不可能な場合、移動・避難先を確保する。（産婦の自宅・他の助産院・病院・避難所等） ＊母子健康手帳に必要事項を記入し、必ず持たせる。 **【 施設継続使用可否の判断材料 】** **新生児管理の３原則（保温・栄養・感染防止）が可能か。** 妊産褥婦の安全確保ができるか。搬送・転院が可能か等。
④ライフラインの確認と確保	母子が安全である場所と方法を選ぶ。 不安を軽減するような声かけと笑顔を忘れない。
⑤必要物品の点検	災害用備蓄品、使用優先順位の確認。 更なる不足時は災害対策本部や助産所部会員等に要請する。また、地区災害対策委員に要請を依頼する。
⑥マンパワーの確保	スタッフや会員等に応援を求める。
⑦分娩予約者への配慮	妊娠 36 週以降の妊婦に連絡をとり、状態の確認と陣痛開始時の対応について打ち合わせる。 助産所での分娩が不可能な時、他の方法を提示する。
＊分娩場所を変更する際は、分娩可能な助産所・病院に連絡し調整する。 ＊分娩可否の情報を、災害対策本部へ連絡する。 ＊搬送・転院時は、救急車が使用できないこともあるので、助産所・家族や民間の搬送会社の利用も考える。	

2）入院中の母子のケア

①把握した状況と助産所の対応を説明し、不安の軽減を図る。
②母子一体でいるようにし、児の保温に努める。
③なるべく家族や誰かが一緒にいる環境をつくる。
④限られた物資のなかで生活援助をおこなう。

3）避難が必要な場合

①避難方法・避難経路・避難場所を確認後、避難誘導する。
②母子一体で避難させる。
③持たせるもの（母子健康手帳・おむつ・ナプキン・毛布・水・K２シロップなど）
④母子の避難先・連絡先を記録しておく。

≪ 災害時初期対応フローチャート（有床助産所）≫

＊児をバスタオルや毛布で保温

＊母親にも頭巾やバスタオルを
　かぶってもらう

＊避難準備

＊原則として、母子一体

＊母子の安否確認

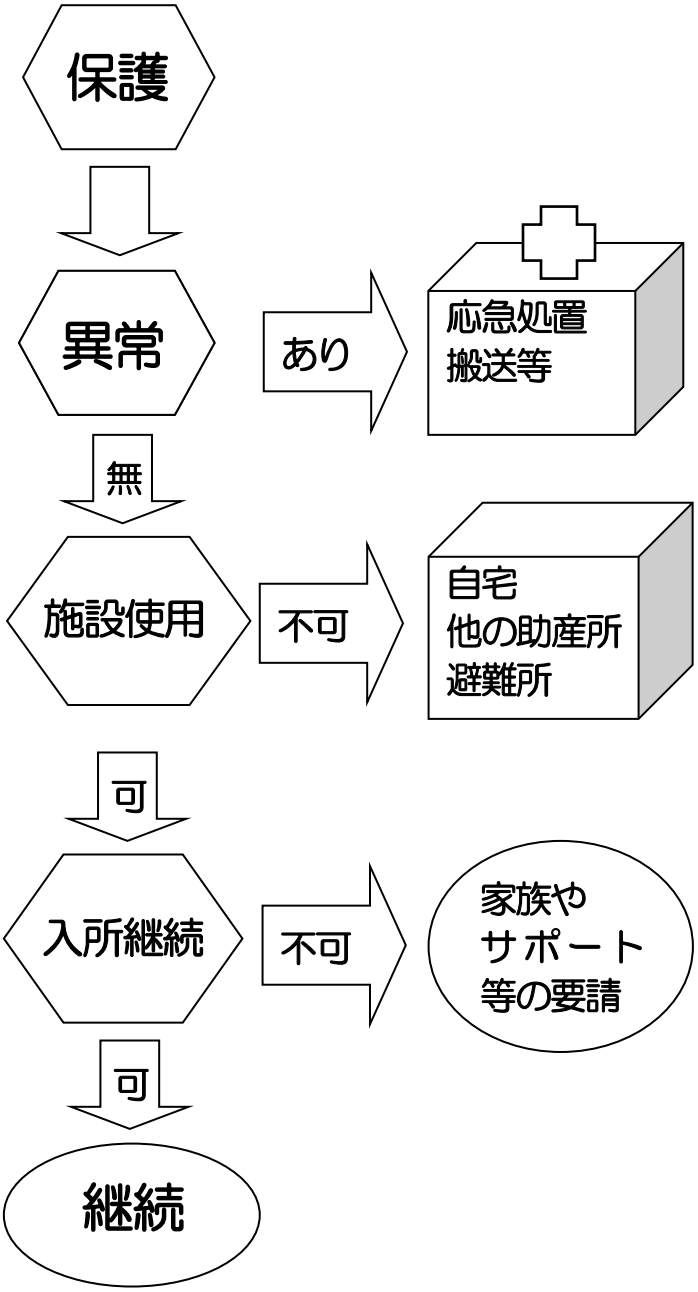
＊家族への連絡

＊助産所の災害・被災状況

＊必要物品の点検準備

＊不足品の調達等

＊マンパワーの確保



【 ライフライン途絶時の分娩時備蓄品 】

分娩時使用物品
　トラウベまたは聴診器・災害用お産セット・ディスポ吸引カテーテル・手袋・
　懐中電灯（ヘッドライト）と乾電池・ビニール袋大・新聞紙・
　刷り込み式消毒・ウエットティッシュ
保温のための物品
　衣類・毛布・バスタオル・使い捨てカイロ・食品用ラップ
産後の必要物品
　ナプキン・紙おむつ・簡易トイレ・非常食・飲料水・カセットコンロとボンベ

『開業助産所災害時対応マニュアル(出張)』

＊災害の場所や規模により、災害対策本部の設置場所は異なるが、開業助産所が担う対応を自覚する。

1）出張助産所における災害時の初期対応

①災害情報の把握	テレビ･ラジオ･インターネット等を利用する。
②車のガソリンを満タンにする	優先給油の指定を受けることもできるが、数日かかるため、速やかに給油をする必要がある。
③分娩予定者と連絡をとる	妊娠 36 週以降の妊婦の状態を知り、陣痛開始時の対応について打ち合わせる。妊婦の環境におけるライフラインの状況を同時に確認する。
④出産後(訪問期間)の方と連絡をとる	母子の状況、被害状況、ライフラインの状況を確認する。
⑤道路状況を確認する	出産を控えている妊婦の自宅周辺の道路状況やサポートスタッフの交通手段が確保できるか確認する。
⑥物品の点検	保温できるもの、懐中電灯、簡易トイレ他
⑦分娩に備えたマンパワーの確保	サポートスタッフの状況を確認し、サポートできない場合は他の助産師に協力を要請する。
⑧ライフラインの確認と確保	分娩予定者の家族とともに、母子の生活環境を最適に整える。
⑨お産	連携病院に分娩開始の一報を入れる。病院の状況を考慮すると、一報を入れる方が望ましい。必要時は、医師から指示を受ける。 出産後は母子の保温と母親の精神安定に配慮する。
＊分娩場所の変更を余儀なくする際は、分娩可能な助産所・病院に連絡し調整する。 ＊搬送・転院時は、救急車が使用できないこともあるので、民間の緊急搬送会社の利用も考える。	

2）自宅出産後の母子のケア

①母子の生活環境を最適に整える。
(母親の不安の軽減、飲食、保温、清潔、児の保温、一般状態の安定、授乳)
②なるべく家族や誰かが一緒にいる環境をつくる。
③限られた物資のなかで生活援助をおこなう。

3）避難が必要な場合

①避難方法・避難経路・避難場所を確認後、避難誘導する。
②母子一体で避難させる。
③持たせるもの（母子健康手帳・おむつ・ナプキン・毛布・水・K2シロップなど）
④母子の避難先・連絡先を記録しておく。

≪ 災害時初期対応フローチャート（出張）≫

＊災害・被災状況の情報収集

＊対象者の状態確認

＊道路状況の情報収集

＊必要物品の点検準備

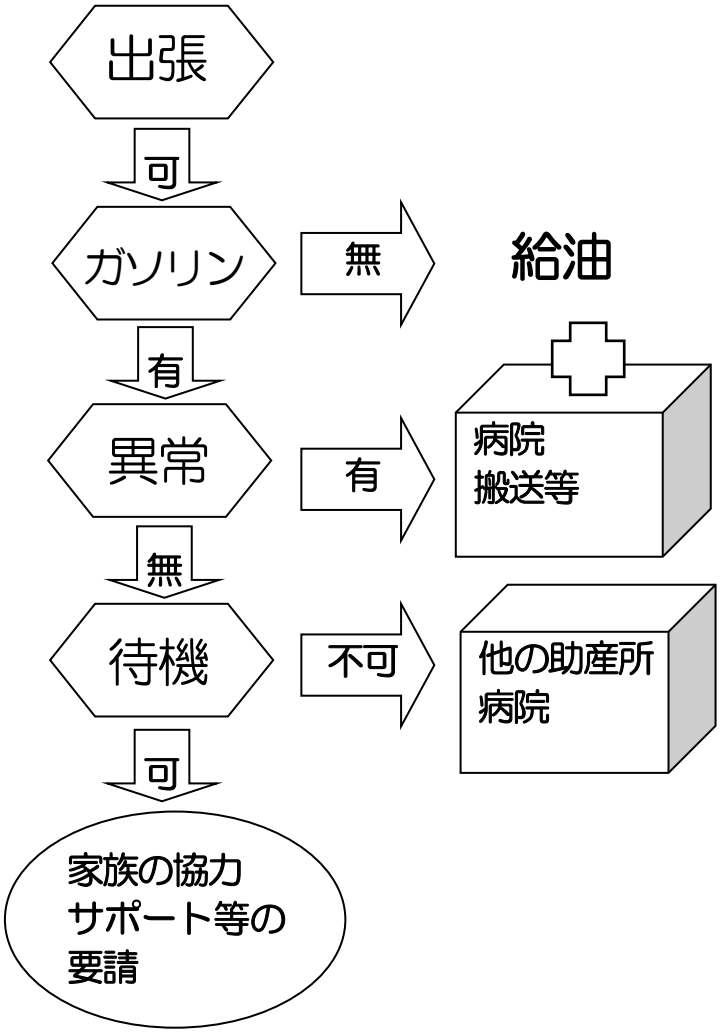
＊母子の状況確認

＊不足品の調達等

＊マンパワーの確保

＊母子の安全の為の準備

保温・清潔保持・母体の飲食



【 妊婦への対応 】

災害状況に応じた、今後の管理の予測を示し不安を軽減させる。
腹緊の増加、出血、破水に関しては、通常通りの手当てと処置を行い、病院と連携する。
分娩予定者に関しては、ライフラインの状況に応じて、家族の協力も求めて環境を整えて陣痛を待つ。

【 ライフライン途絶時の分娩時備蓄品 】

分娩時使用物品
　トラウベまたは聴診器・災害用お産セット・ディスポ吸引カテーテル・手袋・懐中電灯（ヘッドライト）と乾電池・ビニール袋大・新聞紙・刷り込み式消毒やウエットティッシュ
保温のための物品
　衣類・毛布・バスタオル・使い捨てカイロ・食品用ラップ
産後の必要物品
　ナプキン・紙おむつ・簡易トイレ・非常食・飲料水・カセットコンロとボンベ

第７章　　災害時の備え

1.　助産師の持ちだし物品

- □ トラウベ（聴診器）
- □ 手袋（ディスポ　滅菌）
- □ 手指消毒
- □ 血圧計
- □ 臍帯クリップ（絹糸、紐）
- □ 体温計
- □ ハサミ
- □ カイロ（保温グッズ）
- □ 懐中電灯
- □ ナプキン
- □ 新聞紙（朝刊１日分）
- □ お尻ふき
- □ 携帯用ビデ
- □ バスタオル
- □ ビニール袋
- □ 使い捨てマスク(多め)
- □ フェイスシールド又はメガネ
- □ 予防衣
- □ キッチンペーパー
- □ 上靴
- □ 筆記用具
- □ 記録用紙
- □ 晒（半反）
- □ 助産師ビブス

2.　助産院備蓄物品

- □ 分娩キッド
- □ 血圧計
- □ 手指消毒
- □ 体重計
- □ ドップラー（トラウベ）
- □ 手袋（ディスポ　滅菌）
- □ 毛布
- □ カイロ
- □ バスタオル
- □ マスク
- □ タオル
- □ ビニール袋
- □ 哺乳瓶
- □ 粉ミルク
- □ ミルトン
- □ お尻ふき
- □ ナプキン
- □ オムツ
- □ カセットコンロ・ボンベ
- □ ウエットティッシュ
- □ 晒
- □ 懐中電灯
- □ ラジオ
- □ 新聞紙
- □ ラップ
- □ 電池
- □ ヘルメット
- □ 魔法ビン
- □ 水
- □ やかん
- □ 文具
- □ 記録用紙
- □ 現金
- □ 助産師ビブス

3.　０次グッズ……普段から持ち歩き、いざという時に備える防災・減災グッズ

- □ ホイッスル
- □ 携帯用ライト
- □ カイロ
- □ マスク
- □ 常備薬
- □ カットバン
- □ 大判ハンカチ
- □ ビニール袋
- □ 携帯食（飴・カロリーメイトなど）
- □ エマージェンシーブランケット
- □ 現金
- □ クリーム
- □ ゴム手袋
- □ 水
- □ 生理用ナプキン
- □ 生理用ショーツ
- □ 携帯用充電器
- □ 携帯用化粧品
- □ 歯ブラシ(マウスウォッシュ)
- □ ティッシュペーパー(流せるタイプ)
- □ 筆記用具
- □ 安全ピン
- □ ヘアゴム
- □マニュアル
- □ 帰宅支援マップ
- □ ウェットティッシュ(除菌)

＊自分の氏名や緊急時連絡先、家族の連絡先、１７１の使い方などを書いたものを財布に入れておくとよい。マニュアルを常に持ち歩きましょう！

＊「記録票」「報告書」は、千葉県助産師会ホームページからダウンロードできる。

別紙③　　妊産婦　初期対応質問票

（一社）千葉県助産師会

*対象者：妊婦及び出産後2ヶ月以内の方

避難所名：　　日時：　年　月　日　時　分　母子健康手帳：有　無

フリガナ 氏名			生年月日 （年齢）	年　月　日 （　　才）
住所				
電話番号				
治療中の病気	なし・あり（病名： 内服：　　病院名：　　）			
妊娠中の方	妊娠週数	妊娠　　週　　初産・経産（　　回）		
	分娩予定施設名		分娩予定日	年　月　日
			最終受診日	年　月　日
産後の方	分娩日	年　月　日	今回の分娩	経腟分娩・帝王切開
	産後日数	ヶ月　日	分娩施設名	

【妊娠中の方】＊１つでも○があれば安静を保ち、助産師（または保健師）面接へ

☆現在健診で医師から言われていることがあれば、○をつけてください。

1．切迫流産・早産（内服：あり・なし）
2．おなかの赤ちゃんが（小さめ・大きめ）
3．羊水が（少なめ・多め）
4．胎盤が（低い・子宮口にかかっている）
5．妊娠糖尿病（インスリン使用：あり・なし）
6．高血圧（内服あり・なし）
7．その他（　　）

☆現在の心身の状況に当てはまることがあれば、○をつけてください。

【妊娠中の方】

1．おなかの張り・陣痛　（いつから：　　間隔：　　強さ：　　）
2．破水　（いつから：　　量：　　色：　　）
3．胎動減少・消失　（いつから：　　）

【全員】

4．腹痛　（いつから：　　部位：　　痛み方：　　）
5．性器出血　（いつから：　　量：　　）
6．発熱（　　℃）・せき・鼻水・吐き気・嘔吐・下痢
7．気持ちがめいる・イライラする・理由もなく涙が出る

＊ 1～5に　○ ⇒ 医療機関へ搬送
＊ 6に　○　⇒ 隔離
＊ 7に　○　⇒ 助産師または保健師面接

対応者氏名：（助産師）

※記録票は、原則として対象者に渡す

別紙④　災害時の母子ケア実施記録票

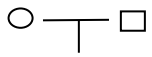
支援日　：　　年　　月　　日

支援場所：避難所（　　）　　訪 問　（自宅・その他　　）

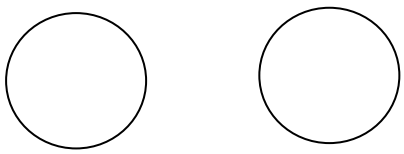
母子手帳　（ 有 ・ 無 ）　　担当助産師　（　　）

ふりがな 母の氏名		妊娠　　週　　予定日（　　） 産後　　ヶ月　　日
		分娩施設名
	昭和・平成　　年　　月　　日生（　　才）　職業	
ふりがな 父の氏名		昭和・平成　　年　　月　　日生　（　　才）
		職業

現住所・ＴＥＬ

〈家族構成・状況〉＊子の氏名・年齢（生年月日） 	＜生活状況＞ ・ライフライン（電気・水道・ガス・通信） ・不足しているもの

◎主訴

母　体	子（　　才　　ヶ月　　日 ）第　　子
既往歴・妊娠経過・分娩歴 現在の体調： 現病歴：無・有（　　） 内服薬：無・有（　　） 食　欲：不変・亢進・低下 睡　眠：良・不良 血　圧：　　/ 排　便：　　回/　　日 アレルギー：無・有（　　） 気持ちの変化など 母乳分泌の状態：乳房の状態 	在胎　　週・出生体重　　g 本日の体重　　g 栄養：母乳　　回 ミルク　　ｍｌ×　　回 離乳食 哺乳力・食欲　：　良・不良 排泄：尿　　回／　　日 便　　回／　　日 体温：　　℃ 皮膚： アレルギー：無・有（　　） 機嫌： 支援内容 継続支援連絡：無・有（　　）

※記録票は、原則として対象者に渡す。

別紙⑤　災害時の母子ケア実施記録票　NO,＿＿＿＿　　年　　月　　日

母の氏名：　　子の氏名：

母の状況	子の状況
体　調： 食　欲：不変・亢進・低下 睡　眠：良・不良 排　便：　　回/　　日 気持ちの変化など： 母乳分泌の状態： 乳房の状態 ○　　○	本日の体重　　g 栄養：母乳　　回 ミルク　　ｍｌ×　　回 離乳食 哺乳力・食欲：　良・不良 排泄：尿　　回／　日 便　　回／　日 体温：　　℃ 皮膚： 機嫌：
＜支援内容＞ 担当助産師（　　）	

年　　月　　日

母の状況	子の状況
体　調： 食　欲：不変・亢進・低下 睡　眠：良・不良 排　便：　　回/　　日 気持ちの変化など： 母乳分泌の状態： 乳房の状態 ○　　○	本日の体重　　g 栄養：母乳　　回 ミルク　　ｍｌ×　　回 離乳食 哺乳力・食欲：　良・不良 排泄：尿　　回／　日 便　　回／　日 体温：　　℃ 皮膚： 機嫌：
＜支援内容＞ 担当助産師（　　）	

※記録票は、原則として対象者に渡す。

別紙⑥　災害時の母子ケア実施記録票　NO,

母の氏名：　　子の氏名：

要支援（母・子）

月日	訴え・観察項目	支援内容	支援者名

※記録票は、原則として対象者に渡す。

別紙⑦

災害時支援　　報告書

助産師　氏名　（　　）

支援年月日	年　　月　　日（　　）
支援時間	時　　分～　　時　　分
支援場所	避難所（　　） 訪　問（自宅・その他　　）
支援内容 相談者 （　　名）	・妊婦の身体面（　　件）・妊婦の精神面（　　件）・乳房管理（　　件） ・母の身体面（　　件）・母の精神面（　　件）・育児面（　　件） ・乳幼児の身体、発育面（　　件） ・その他
困ったこと 気づいたこと 改善点　など	

記録提出先：

助産師　氏名　（　　）

支援年月日	年　　月　　日（　　）
支援時間	時　　分～　　時　　分
支援場所	避難所（　　） 訪　問（自宅・その他　　）
支援内容 相談者 （　　名）	・妊婦の身体面（　　件）・妊婦の精神面（　　件）・乳房管理（　　件） ・母の身体面（　　件）・母の精神面（　　件）・育児面（　　件） ・乳幼児の身体、発育面（　　件） ・その他
困ったこと 気づいたこと 改善点　など	

記録提出先：

＊支援終了後、千葉県助産師会の災害対策本部に提出お願いします。

別紙⑧

災害時支援協力員登録用紙（個人用）

記入日　　年　　月　　日

フリガナ 名　前	
住　所	〒
地区名	
電話番号	自宅☎ FAX番号 携帯TEL
メールアドレス	パソコン 携帯
自宅以外の緊急連絡先	名前 電話番号 本人との関係
日本助産師会の団体保険の賠償責任保険及び傷害保険加入の有無 該当する所を〇で囲む	・助産師賠償責任保険(分娩あり) ・助産師賠償責任保険(分娩なし) ・勤務助産師賠償責任保険 ・団体障害保険 ・いずれも未加入
その他	

※上記の個人情報は、(一社)千葉県助産師会の災害支援活動目的で使用いたします。
支援活動市町村から、支援者名簿の要請があれば、上記情報の一部を市町村に対して公開をする事をご了承下さい。

※年度初めに、各地区で支援者の確認をし、申し出がない限りは、自動更新とします。
災害時支援者として活動できなくなったときや情報の変更があったときは、申し出てください。

※この用紙は、千葉県助産師会ホームページからダウンロードできます。

amethyst MATERNITY

アメジストマタニティの

～ 非常時対策 ～

レスキューママN
（東京・聖母病院様ご考案商品）

災害など、
いざという時の備えとして
アメジストマタニティからの
安心のご提案です。

分娩キット災害時用
（高度管理医療機器）

amethyst BABY　amethyst MEDICAL　amethyst ファミレ!

amethyst
大衛株式会社

□	東　京	TEL.03-5981-7180
□	札　幌	TEL.011-817-3600
□	仙　台	TEL.022-225-2745
□	北関東	TEL.03-5981-7180
□	南関東	TEL.03-5981-7180
□	名古屋	TEL.052-369-4110
□	大　阪	TEL.06-6928-7245
□	学研都市	TEL.072-856-6531
□	広　島	TEL.082-211-2166
□	福　岡	TEL.092-622-8415
□	コンシューマ事業本部	TEL.052-355-2711

皆様に愛されて
27万4,764個
※2020年8月末現在

公益社団法人
日本助産師会 推奨商品

羽毛足首ウォーマー

さらにあたたかさがアップ！ 羽毛の本格派ウォーマー

いつでも
any time
- 家事をするとき
- 仕事中に
- 勉強するとき
- 就寝時に
- 外出するとき

どこでも
any where
- オフィスで
- ご家庭で
- 映画館で
- アウトドアで

パンツの内側にこっそり！

どんな季節も
all season
- 寒い冬に
- 夏の冷房対策に

冷えは女性の大敵！

羽毛足首ウォーマー［59N944B］

羽　　毛：ホワイトダックダウン80%
　　スモールフェザー20%　片足11g
サ イ ズ：フリー（15×39cm）
生　　地：ポリエステル100%　ダウンプルーフ加工
カ ラ ー：黒
価　　格：3,100円（税込）［日本製］

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社　千葉営業所
〒285-0815 千葉県佐倉市城354-8
フリーコール 0120-006-745

ご出産・育児 無料相談所

プレママステーション

そごう千葉店 6 階

一般社団法人 千葉県助産師会 会員在籍
■開設時間：午前 11 時～午後 4 時
■電話 043(245)8328〈直通〉

助産師資格を持つスタッフが、産前産後や、さまざまなお子さまの疑問・心配事の相談を無料で承ります。

※お電話での相談は承っておりません。
※混雑時はお待ちいただく場合がございます。

- 母乳
- 成長
- 離乳食
- 発達
- お肌
- ベビー用品
- 妊婦
- 予防接種
- 歯
- お子さまとの接し方
- その他

そごう千葉店では、お子さまの履かなくなった靴を下取りいたします。

ご使用にならなくなったこども靴 1 点につき、500 円割引券 1 枚とお引き換え。割引券はこども売場にて一回のお買い上げ税込 5,000 円につき 1 枚ご利用いただけます。 ※レシート合算不可

承り場所・下取り・割引券など、くわしくはこちらをご覧ください。

お預かりした子ども靴の一部は、製品状態などを確認のうえ、国際協力 NGO ジョイセフを通じ、ザンビア共和国への寄贈やリサイクル活動に役立たせていただきます。

そごう千葉店　郵便番号 260-8557　千葉市中央区新町 1000 番地
営業時間：午前10時～午後 8 時〈10 階レストラン街：午前 11 時～午後 10 時〉
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休業や営業時間・価格の変更、イベント（催事）の中止や延期など、一部掲載内容が変更となる場合がございます。※掲載内容は予告なく変更・終了となる場合がございます。

SOGO 千葉
www.sogo-gogo.com

あなたの街や助産院にも、備蓄しませんか？

茨城県内をはじめ、既に11の市町村で
備蓄として取り入れられています

モーハウス防災Tシャツ
（吸水速乾授乳Tシャツ）

災害発生時を想定して工夫された授乳服
- 授乳しやすさにこだわった機能性
- 幅広い体型に対応するデザイン
- 災害時の使用を考慮した素材選び

災害発生時、子育てママは不安でいっぱい

そんなママたちを支える災害対策として
モーハウスの授乳服を備蓄しておくと…

- 着の身着のまま避難してきた母親も**母乳育児を継続できる**
- 避難所に授乳室がなくても**どこでも授乳ができる**
- **授乳中でも肌が見えない**ため、避難所での男性とのトラブル回避
- いつでもすぐに授乳ができるから避難所での乳幼児の泣きが減り**住民同士のトラブル防止**
- 商品に汎用性があり授乳をしていない**幅広い年齢層の女性も着用可能**

授乳中の母親が安心して**母乳育児を続けることができれば、人工乳で育てている母親には支援物資のミルクが適切にいきわたり、**双方が安心できる環境を作ることにつながります。モーハウスは**一人でも多くの子育て中の女性に災害時の安心を届けたい**と願っています。

お申込み・お問合せ
有限会社モーハウス
茨城県つくば市梅園 2-17-4　mo-baco2F
0120-60-77-60（月～金 10:00～18:00）
medical@mo-house.net

一般社団法人 千葉県助産師会 子育て女性健康支援センター（ミッドワイフ千葉）

助産師の電話無料相談

080-5039-4720

月～金曜日 10時～13時（祝日・年末年始を除く）※通話料金のみご負担下さい

助産師が応援します！

お気軽にお電話を!!

子育て・女性の健康 なんでもご相談下さい

妊　娠

妊娠中は
どう過ごすの？
お産はうまく
いくかな？

母　乳

母乳で育てたい
おっぱいのしこりが心配
おっぱいの手当の方法？

子育て

イライラして子どもに
当たってしまうの
離乳食は？

その他

避妊はどうするの？
思春期の悩み
更年期の悩み
不妊の悩み

一般社団法人 千葉県助産師会

http://www.midwife-chiba.org/

※ホームページに助産所マップが掲載されています。

個人の特定がされない形で内容やデータを調査研究に使用することもあります。

別紙⑨

令和　　年　　月　　日

千葉県危機管理課　殿
各市町村長　　殿

一般社団法人　千葉県助産師会
会　長　　武田智子

における助産師による支援協力について

令和　　年　　月　　日の　　大規模災害におきましては、広範囲の地域に大きな被害があり、県内各所の被災者の受け入れ施設には、多くの方々が避難されてきております。千葉県助産師会では、災害対策本部を立ち上げ、支援協力の準備を進めております。避難所には、妊産褥婦さんや小さなお子さま連れの方も見受けられます。これらの方々への支援として、避難所に出向き、私たちの専門分野である母子の身体的・精神的健康の維持・向上に何らかの力になれればと考えております。

ぜひ、助産師の力をご活用ください。助産師の支援協力を希望される場合は下記にご連絡くださいますようお願いいたします。

記

支援可能な内容　　妊産褥婦、乳幼児の健康相談・精神的ケア
母乳相談、育児相談
思春期女性への精神的、身体的支援
その他　　女性の健康に関すること

以上

連絡先
千葉県助産師会　災害対策本部　　武田智子
〒264-0003　千葉県千葉市若葉区千城台南1－2－6
サンライズ千城台205号室
ＴＥＬ　０４３－３７１－２４２５
ＦＡＸ　０４３－３７２－２１７４
Eメール　info@midwife-chiba.org

編集後記

ひと昔前は、「災害は忘れた頃にやってくる」と言われましたが、今は毎年のように地震のほか、水害や土砂災害等、さまざまな災害が起こっています。

千葉県助産師会では、災害時に助産師が戸惑うことなくスムーズに支援へ行けるように、と『災害時支援マニュアル』を作成し、5年が経ちました。

近年、「母子は、要支援者」という認識が広まり、母子福祉避難所が開設される市町村も徐々に増えてきました。母子福祉避難所でこそ、助産師の役割が多くあるのではないかと考えています。現在は新型コロナウイルス感染症の流行により、生活様式も社会情勢も一変しました。また、インターネットの普及により、情報収集の取得が容易になっています。それらを踏まえ、時代に沿ったものにしようという思いから、『災害時支援マニュアル』を改訂することにしました。今回は、災害フェーズに応じた支援活動内容や災害時の対応フローチャートを見やすくし、インターネット検索がしやすいようにURLやQRコードを掲載したり、感染症対策等を盛り込んで作成しました。

災害の多い昨今、改訂した『災害時支援マニュアル』を参考にし、防災への意識を高めてほしいと思います。急に起こる災害に素早く対応できるよう、地域の避難訓練への参加や災害関連の講演等にて、日々研鑽していただけると幸いです。

この『災害時支援マニュアル』が妊産婦や母子・女性の支援のお役に立つことを願っております。

最後に、『災害時支援マニュアル』改訂にあたり、ご協力頂きました皆様に心より感謝を申し上げます。

2021年12月
千葉県助産師会　災害対策委員長　塩見　良子

千葉県助産師会　　災害時支援マニュアル改訂版

災害対策委員	金子美有紀	金子真理恵	西宮慎子	塩見良子
専門部会長	來田美鈴	清水清美	小柴和子	
地区災害対策委員	足立千賀子	田邉悦子	伊東千佳子	島森孝恵
	石毛光代	進藤典子		
作成協力	佐藤美保子	増田美恵子		

千葉県助産師会　災害時支援マニュアル
２０１６年１２月　　初版発行
２０２１年１２月　改訂版発行
編集・発行：千葉県助産師会災害対策委員会　千葉県助産師会事務所
〒264-0003　千葉県千葉市若葉区千城台南1－2－6
サンライズ千城台205号室
ＴＥＬ　　０４３－３７１－２４２５
ＦＡＸ　　０４３－３７２－２１７４
Eメール　info@midwife-chiba.org
※無断転載禁止